

# 福祉かわら版



福祉かわら版第11号です。社会福祉協議会から学区福祉委員会の方々に伝えたい情報をまとめています。地域の方にお話をいただいたり、福祉委員会活動でご利用いただきたいと思います。

## ♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥ 岡崎市学区福祉委員会連絡協議会ってなに？ ♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥

学区福祉委員会相互の連絡調整をはかり、学区の福祉活動を推進することを目的として、平成21年12月16日に設立されました。年3回行っている連絡会議にて、主に学区相互に意見交換を行っています。



○ ○ ○ ○  
 昨年の連絡会議にて、広報やサロン  
 についての事例報告を行って  
 いただいた場面

### <学区福祉委員会連絡協議会役員>

役職	氏名(学区)	行政区
会長	入江 紀夫(細川)	岩津
副会長	戸松 久(美合)	大平
	鈴木 一巳(豊富)	額田
	長坂 宏(竜美丘)	本庁(南)
事務局長	北原 次男(小豆坂)	岡崎
幹事	柴田 昭雄(広幡)	本庁(北)
	川口 英(藤川)	東部
	都築 正憲(矢作南)	矢作
	太田 達夫(六ツ美中部)	六ツ美

6月14日(火)、平成28年度岡崎市学区福祉委員会連絡協議会総会が開催されました。支所管内ごとに1名ずつ役員が選出され、右の通り、9名の役員が決定しました。

### <入江会長から各学区福祉委員のみなさんへ>

学区福祉委員会は、健康寿命を伸ばしていくことを活動の柱の一つとしています。行政サービスだけでは手が届かない小地域において、それぞれの地域性に合わせた活動がされておりますが、学区福祉委員会連絡協議会として、各学区の活動をバックアップできるように取り組んでいきたいと思ひます。

## 🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌 <平成28年度開催の講座> 🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌

講座名	日程	内容
地域福祉リーダー養成講座	8/27(土)	「ステップアップ傾聴講座～対象者に合わせた傾聴の心得を学ぶ～」
	9/2(金)	「まちのリーダー養成講座～リーダーとしての視点や役割を学ぶ～」
ホームページ作成研修	9/6.13.20(火)	初級コース
	9/7.14.21(水)	中級コース
地域福祉講座	11/24(木)	「住民のつながりの強いまち＝安心なまち・・・関係あるの？関係あります！～あいさつから始める、安心・安全なまちづくり～」
サロンリーダー養成講座	11/29. 12/6.13(火)	地域で開催されるサロンでのリーダー的な役割を果たす人材を養成することを目的とした講座。
全国校区・小地域福祉活動サミット in おかざき・西三河	1/21(土)	小地域福祉活動を実践している地域住民が全国各地から集まる研修会。全国的な取り組み事例を聞き、自分のまちでは何ができるかを考え、学び合う機会。



より安心して暮らせるまちづくりのために、そして、地域での福祉活動を行う上での”ヒント”を得ていただくために、たくさんの方に受講していただきたいと思います。日程が近づき次第、案内文を各学区福祉委員会の委員長宛に出していきます。たくさんの方の受講をお待ちしております。



六ッ美中部学区では、6月23日（金）に開催された全体会の中で、「福祉委員の仕事と活動の現状」をテーマに、研修会が行われました。今年度、新たに福祉委員になられた方も多いため、「福祉委員としての意識と役割」や「具体的にどのような取り組みができるのか」等を中心に、社会福祉協議会からお話をさせていただきました。他学区での活動状況をお伝えしながら、「自分の学区ではどんな事ができるだろうか・・・」そんなことを考えていただく時間となりました。

《社協より・・・》

福祉委員として地域で何ができるだろうか・・・。地域ごとでいろいろ考えながら活動していただいていると思います。私たち社協も一緒に考え悩み、解決に向けて取り組んでいきたいと思いますので困ったときはご相談ください。

地域の旬なサロン☆愛宕学区「和っ家」☆

愛宕学区にて、多世代型子育てひろば「和っ家」が、5月26日オープンしました。『就労支援力フェアすなる』の1室を借りて、誰もが集える居場所となっています。

《支援者の猪飼さん（主任児童委員）より・・・》

誰でも来られるような居場所・・・構想から3年がたち、ようやく出発できました。

スペースを貸してくれた就労継続支援B型事業所と出逢えたことや、一緒に活動してくれるボランティアさんに感謝です。

子育て中のママも子どもも、地域の高齢者や障がいをお持ちの方も・・・いつでも誰でも参加してくださいね。



《社協より・・・》

地域の社会資源と連携を図り、誰もが集える新しい形のサロンが誕生しています。他の地域でもいろいろなやり方で居場所を作ることができます！何かあれば社協に相談してください！地域での居場所作りのお手伝いをさせていただきます。

地域の旬なサロン☆六名学区「無用庵」☆

六名東町のサロン「無用庵」では、6月28日に「就労支援きずな」に通所している障がい者と交流をしました。障がい者が講師となって作品作りをして、参加者全員で楽しみました。

《世話人の八田さん（個人ボランティアさん）より・・・》



普段は月に2回、サロンを開催しています。地域での居場所作りに加え、障がいを持った方との交流も必要だと思い、今回企画しました。これからも地域が元気になるように、サロンを続けていきたいと思っています。

サロン活動で使える、レクリエーションの紹介

～ のらめなら、のせてみよう ～

椅子の上に乗るように、タオルを投げるゲームです。目と手の協調性を引き出します。タオルの投げ方を良く考えなければ、椅子に乗ってくれません。思考力・調整力を養います。個人戦・団体戦とも楽しめます。

<用意するもの> フェイスタオル、椅子

- <遊び方>
- ①タオルを1人1枚ずつ配布し、1か所結び目を作る。
  - ②参加者は丸くなって座り、真ん中くらいのところに椅子を置く。
  - ③よーい、ドン！の合図で、真ん中に置いた椅子の上にタオルが乗るように狙って投げる。

<進め方のコツ> ①真ん中に置く椅子について、座面が滑りやすいものの方がタオルを乗せるのが難しく楽しめます。

- ②参加者から椅子までの距離は、参加者の状態に合わせて変えましょう。
- ③タオルの結び目を2つにすると、難易度が上がります。
- ④参加者は安全対策のため、足の裏をしっかり床に付けて座るよう呼びかけましょう。



運営スタッフも参加者も、失敗しても成功しても、みんなで笑い合って楽しんで下さい。何事も大声で笑うことが大切です★

～参照～ 公益財団法人日本レクリエーション協会 <http://www.recreation.or.jp/playing/item/>

～はぴりんからのお知らせ～

社会福祉協議会では、サロンで使えるレクリエーション用品の貸出を開始しました。福祉委員会活動や町内単位で行われているサロン活動等にぜひご活用下さい。

問合せ先：社会福祉協議会事務局 社会福祉協議会額田支所  
TEL 23-8705 TEL 82-2268